

2024年(令和6年)11月15日(金曜日)

電波新聞

各種コネクタ開発を強化

次世代の高速伝送要求に対応

ケル

ケルは、次世代の高速伝送ケーブル用コネクタ「HSPシリーズ」の開発を進めている。5Gの普及する。両シリーズともに拡大やAI(人工知能)サーバー/データセンター(DC)の高性能化などに照準を合わせた技術開発を進めている。

GGSS配列のコンタクト形状を採用。スタック高さ3mm。極数は40極、140極。使用温度範囲は40℃～105℃。フロートイング構造により位置ずれを吸収できる。高性能化が進むDC/サーバーやハイエンド基地局市場向けに提案する。

HFシリーズは、56bps(NRZ)および56bpsの高速伝送とフロートイング構造(フロートイング量はXY方向にそれぞれ4mm)を両立させた。

HSPシリーズは、224bps(PAM4)差動伝送ケーブル用コネクタ。適合する。

同社は、高速伝送対応製品として、56bps(NRZ)BtoBコネクタ「HFSシリーズ」や、224bps(PAM4)差

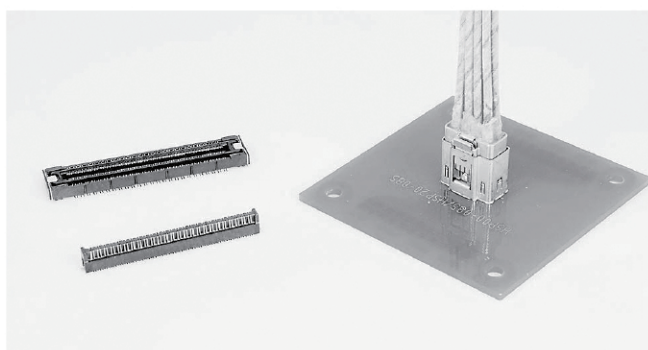
動伝送に特化した

0Ω。次世代の伝送装

置やハイエンド基地局などの用途向けに提案する方針。

このほか、PCIe

同社は産業用コネクタを中心とした電子部品メーカーで、ハイスピードな展開している。



HFシリーズ(左)とHSPシリーズ

の開発を進めている。自動車の統合ECU向けに開発を進めている製品で、32bps相当の高速通信に対応、最大80Aの電源を供給できる。将来的には、光電融合などに対応する高速